

## 6 オリンピック・パラリンピック教育の推進

### 【施策の必要性】

東京 2020 大会を、子供たちの人生にとってまたとない重要な機会と捉え、オリンピック・パラリンピック教育を全校で展開することを通して、東京都の児童・生徒の良いところを更に伸ばし、弱みを克服する取組を推進し、国際社会に貢献し、東京、そして日本の更なる発展の担い手となる人材を育成していくことが求められる。

また、東京 2020 大会の経験を通じ、その後の人生の糧となるような掛け替えのないレガシーを子供たち一人一人の心と体に残していくことが重要である。

### 主要施策 15 オリンピック・パラリンピック教育の推進

#### 1 「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針に基づく教育の推進

子供たち一人一人の心と体に人生の糧となるようなレガシーを形成するため、「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針（平成 28 年 1 月策定）に基づき、都内全ての公立学校でオリンピック・パラリンピック教育を推進する。各学校においては、本教育を通常の教育活動に関連付け、年間 35 時間程度を目安として学校全体で組織的・計画的に展開する。

本教育では、共生社会形成のために必要となる五つの資質（ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚）を重点的に育成するために、「東京ユースボランティア」、「スマイルプロジェクト」、「夢・未来プロジェクト」、「世界ともだちプロジェクト」の四つのプロジェクトを推進し、特に、ボランティアマインド、障害者理解、豊かな国際感覚の三つの資質を重視する。

また、本教育の成果が、東京 2020 大会以降も持続するための仕組みづくりとして、東京ユースボランティア・バンクの充実、パラスポーツ指導者講習会の継続実施、大使館等との連携の拡大などを推進していく。

## ◇主要事務事業（指導部）

## (1) オリンピック・パラリンピック教育の全校展開

「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針（平成 28 年 1 月策定）に基づき、都内全ての公立学校でオリンピック・パラリンピック教育を推進する。各学校においては、本教育を通常の教育活動に関連付け、年間 35 時間程度を目安として学校全体で組織的・計画的に展開している。

本教育では、共生社会形成に必要となる五つの資質を重点的に育成するために、「東京ユースボランティア」、「スマイルプロジェクト」、「夢・未来プロジェクト」、「世界ともだちプロジェクト」の四つのプロジェクトを推進する。平成 30 年度は、特に、ボランティアマインド、障害者理解、豊かな国際感覚の三つの資質の育成を重視していく。また、今後、本教育が東京 2020 大会以降も継続した取組となるための仕組みを構築していく。

## (2) 東京ユースボランティアの拡充

児童・生徒の発達段階に応じて、主体的・自主的なボランティア活動を支援する「東京ユースボランティア・バンク」の計画的・継続的な活用を推進する。

## (3) パラスポーツ指導者講習会・パラスポーツ交流大会の実施

ア 障害者スポーツの理解促進と普及啓発を図るため、パラスポーツ指導者講習会を前年度より拡大開催するとともに、パラリンピック競技応援校の指定（20 校）や、東京都公立学校パラスポーツ交流大会を開催する。

イ 障害者スポーツ等を通じた体育的活動や交流活動の充実を図るため、都立特別支援学校のスポーツ教育推進校を全校（57 校）に拡大して指定する。さらに、全国大会や国際大会で活躍できる選手を育成するための指定校を 8 校指定する。

## (4) 世界ともだちプロジェクトの拡大

児童・生徒の豊かな国際感覚の醸成に向けて、大使館や地域の留学生、在京外国人、インターナショナルスクール等との具体的な交流を推進する。

## (5) オリンピック・パラリンピック教育アワード校の顕彰

優れたオリンピック・パラリンピック教育を展開した学校を顕彰し、気運の醸成を図るとともに、その取組内容や成果を広く発信することで、各学校での取組の一層の促進を図る。

## (6) オリンピアン・パラリンピアン等の学校派遣の実施

オリンピアン・パラリンピアン等を学校に派遣し、オリンピアン・パラリンピアン等との交流や競技体験を通じ、児童・生徒がスポーツや運動により一層親しむとともに、アスリートの考え方や生き方に触れることにより、自己実現に向けての努力や困難に立ち向かう意欲を培う。

## (7) スクールアクション「もったいない」大作戦の実施（再掲）

環境への取組（3R）について、子供たち自身が具体的な行動目標を設定し、その活動を家庭・地域と連携して継続的に推進・実践する。

(8) 被災地等との連携によるパラスポーツ交流体験

修学旅行等で東京を訪れる被災地等の中学生と都内の中学生が、パラスポーツを一緒に体験するなどの交流を通して、他者を尊重し、共に認め合う心を培う。